

国語科学習指導案

学校名 茨城県立鉾田第二高等学校

教諭 井上桂子

1 単元名・教材名・配当時間・対象

単元名	教材名	配当時間	対象
第一学習社 高等学校 標準現代文 小説を読む(二)	ミラクル 辻 仁成 著	8	2年次

2 単元目標

- ・ 場面構成を的確に把握しようとする。(関・意・態)
- ・ 表現に注意しながら、登場人物の心情、作品の主題を読み取ることができる。(読む能力)
- ・ 語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにすることができる。(知識・理解)

3 単元の評価規準

- ・ ワークシート等の実施を通して、場面の変遷を把握しようとしている。(関・意・態)
- ・ 会話文に留意することで、登場人物の心情を捉えることができる。(読む能力)
- ・ 基本的な語句の意味・用法を的確に理解している。(知識・理解)

4 指導と評価の計画

時間	各時間の目標	学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	1 本文全体を通読し、学習課題を捉える。 2 音読を通して、語彙を豊かにする。	1 登場人物や設定に注意して本文を通読し、内容を把握する。	1 場面の変換を把握使用としている。(関・意・態)	1 ワークシート記述の点検・確認
2 7	1 段落ごとに設定、内容を把握する。 2 登場人物の心情を理解する。	1 登場人物の人物像、背景について確認する。 2 登場人物の会話のやりとりに着目し、シナリオ化することで心情を捉える。	1 話の展開と登場人物の心境の変化について核となる表現を見つけている。(読む能力) 2 会話文や地の文をシナリオ化することで、登場人物の心情を捉えている。(読む能力) 3 基本的な語句の意味・用法を的確に理解している。(読む能力)	1 発言の観察 2 ワークシート記述の点検・確認 3 記述の確認
8	1 本文全体を振り返り、主題を理解する。	1 ワークシート学習を実施し、学習のまとめをする。	1 全体の内容を振り返って、登場人物の心情や作品の主題を捉えている。(読む能力)	1 ワークシート記述の点検・確認

[第3時] 本時

○ 本時の目標

第2段落のシナリオ化を通して、登場人物の会話や心理描写に留意し、心情を捉えることができる。(読む能力)

○ 本時の評価規準及び評価方法

評価規準・・・シナリオを完成させ、シドとアルの会話を読み合わせることから、双方の心情を捉えている。

評価方法・・・発言の観察、ワークシートの点検・確認

学習活動	指導上の留意点	評価の実際
1 第2段落の内容を読み直す。	○ 内容に沿って、分かりにくい語句を解説する。	
シドとアルの危機をシナリオにして、二人の気持ちのズレをつかみ取ろう。		
2 プリントの会話文の部分には赤線を引く。表情、心理の描写の部分には青線を引く。	○ 会話に注意しながら、二人の心情が分かるよう本文に赤ペンで実線を引かせる。 ○ 会話文では、まず話者が誰なのかを確認させる。 ○ 表情、心理描写の部分は、単語程度でも気になった部分を線を引くよう指示する。	○ プリントに実線を引き、二人の会話に注目している。(読む能力) <u>机間指導・プリントの観察</u> — 努力を要する生徒への手だて — 友人同士での相談を促し、お互いに教え合うことができるようにする。
3 引いた実線を抽出し、ワークシートにシナリオ形式でト書きする。	○ 会話文のみでシナリオ作成する。 ○ 話者がシド、アルのどちらなのか確かめながら会話文を追わせる。 ○ 続けて、青線部(表情、心理描写)から、実際に自分で読み合わせするときの参考となるような表現を書き抜かせ、シナリオに加えさせる。	
4 シナリオを使い、実際に読み合わせをする。	○ 役割を確認させ、お互いに読み合わせをする。 ○ シナリオ記述から、シドとアルの心情のズレに気付かせるようにする。	○ シナリオを完成させ、読み合わせることで、アルとシド親子の心情のズレに気付いている。(読む能力) <u>ワークシート記述の点検、確認</u>
5 本時の振り返りと次時の確認	○ シナリオの最後に自己評価を簡単に記入させる。	— 努力を要する生徒への手だて — 机間指導の際に個別に声掛けをし、会話のやりとりに興味をもたせる。